

解散命令セラレテ即ち摩耶山無料休憩所、各々退去スルハ
 右三種。指令モ著ク極力依制を操ルニ由リテ上へ漸次結束前ハ
 人々ノ善運ありと見え、幹部左リ所推 末政善三郎、小石川大蔵
 党、神戶支部員市會議員永江一丈と訪問、善後策ト依頼シ
 たり。以上、永江一丈ハ市電多摩鐵道村上多一ト共ニ市電多摩鐵道
 組合ヨリ寄贈、金五丁四を携帶、真谷比ト赴キ右金子寄贈、後
 全員の英御向を經ル由ナリ

- 烟原郵便局長 一任談 三六二
- 永江市會議員 一任談 三六一

右状態に不拘永江一丈ハ自己ニ在リテ且して近々ニ市電多摩鐵道
 若シ兵隊隊特高課主任警部金谷仁作及市電多摩鐵道若高幹事
 主任小林一二を訪問し仲裁、勞を採ラんことを懇願シ、
 市電多摩鐵道同好会ニ第三者の介在ヲ認めること不能ト
 拒絶シ、右名ハ永江一丈ヲ取り去リ
 主催警部ト失口又一纏ヲ望ミ持テ去リ、永江一丈の調停トシテ
 座來シ、市電多摩鐵道同好会ニ第三者の介在ヲ認めること不能ト
 カニ討取シ他局トモ手と延ガシ一撃ト勝利を期スルハシテ了ス

以上警察側々第三回罷業集合地ニ至リ、西難鐵道屋正史等
 ニ至リ遂ニ主催幹部

- 高橋利夫 本柳安雄 末政善三郎 古川茂雄
- 島田美 依田敬吉 橋本一

以上七名と檢束シ、
 市電多摩鐵道若高幹事強硬做罷業員。茲檢束。右の軟派 古川茂
 田兩名モ摩耶山に向ケシ、一齊罷業を勸告シ、遂ニ一團異
 議ナク三日より罷業ことナリ、午右四時三十分下山、市電多摩鐵道
 同局長 島田七郎より左、訓示ト受リ三日より勤務打合せモナ
 シ退局ス

- 市電多摩鐵道 西山慶芳 依々木藏 高橋利夫
- 市電多摩鐵道 坂川爲三郎 依川武夫

市電多摩鐵道 大塚喜一郎 石路幸太郎 金川五十六郎
 以上八名々今回。罷業指導者トシ、四日内容證明郵便トシテ
 郵便通知者トシ、郵便者ト何等。策動なき左の四橋解
 決シ、